

ホームガーデンの特徴と機能

ベトナム中部における事例

ダニエラ 幸恵 前川

キーワード：ホームガーデン、機能、事例研究、発展、ベトナム

1、背景

ホームガーデンとは、家庭の敷地内に組み込まれた小規模農業システムである。ベトナムでは、ホームガーデンは家庭における栄養改善を目的として中央政府によって推進されてきた(Giay, 1998)。人口の 70%弱の人々が農村地域で生活しているベトナム（ベトナム統計局、2011）では、ホームガーデンは現在でも重要な役割を担っている。研究者たちはホームガーデンの機能を重要視してこなかったとともに、ホームガーデンを取り扱った本や報告書は稀である(Nair and Kumar, 2006)。本研究の目的は、コミュニティにおける開発のあり方について議論することに加えて、ホームガーデンの多機能システムの理解に貢献するためにベトナム中部の氾濫源地域における事例研究を通してホームガーデンの特徴と機能を明らかにすることにある。

2、調査方法

Huong Van コミュニティは 6,211 ヘクタールの中に 6,887 人が住んでおり、ベトナム中部の Thua Thien Hue 県、Huong Tra 地方の氾濫源に位置している。主たる生業は水田稲作、ラッカセイやキャッサバのような換金作物栽培、小家畜飼育、ホームガーデンでのバナナやザボンの栽培である。調査は参加型調査手法を用い、現地語通訳のサポートを通じて行った。調査の流れとしては、地域のリーダーから調査許可を得ること、グループ討論を行うこと、訪問視察を行うこと、ホームガーデンの要素を分類することの順に行った。加えて、事前に準備された質問と自由な聞き取りによる 28 のインタビューを行い、その中の 13 を研究事例とした。

3、結果と考察

ホームガーデンでは、7 種の家畜と 9 種のバナナを含む 93 の栽培品種が合計で確認できた。ホームガーデンは全敷地面積の 89, 1 パーセントを占めており、平均面積は 1,271 平方メートル、ホームガーデンひとつあたりの栽培品種は平均 39, 6 であった。そして、ホームガーデンの発展における主たる課題は、コミュニティ内での異なる環境における不十分な情報、植物と家畜の病気に対する適切な治療、最適品種の選択、科学肥料と農薬の使用などであることがわかった。また、ホームガーデンの主たる機能は文化的アイデンティティの補充のような変化しやすいアメニティの範囲と生物多様性の保全や環境サービスのような大きな社会利益に加えて、食糧備蓄、追加収入（20.3%が植物により、13.1 %が家畜による）、公衆衛生、薪を得ることにあることがわかった。しかしながら、個々の農家の生活の好みと社会経済状況によると、ホームガーデンは大きく異なる特徴による包括的な視点で見られていないかもしれない。地域の伝統と家庭のニーズについて、Huong Van コミュニティのホームガーデンの発展は様々な現実の理解とホームガーデンの所有者に対する適切な指導の提供に頼っている。

参照

- i) Giay, T. (1998). Utilization of wartime nutrition survival experiences. *Asia Pacific J Clin Nutr*, 311-313.
- ii) Kumar, B. M. (2006). *Tropical Homegardens: A Time-Tested Example of Sustainable Agroforestry*. Netherlands: Springer Science, p.9.
- iii) General Statistics Office of Vietnam (2011, Nov 17). *Population in Vietnam*. Retrieved from <http://www.gso.gov.vn>